

関西地方から、修学旅行生がマジック釣りを体験しに やって来ました！



マジック釣り
サイコー！

5月26日、兵庫県神戸市立西代中学校の3年生175人が修学旅行で荒尾干潟を訪れ、マジック釣りを体験しました。マジック釣りを体験したと、意気揚々とマジック釣りをスタートした子どもたちでしたが、習字の筆を使って行う独特の漁法に大苦戦。しかし、終盤にはコツをつかんだのか、「やったー！」「釣れた！」との歓声が干潟のあちこちから湧きあがりました。マジック釣り体験後には、マジックの天ぷらが振る舞われ、子どもたちは未体験の味に舌鼓を打っていました。この体験プログラムは、荒尾市や大牟田市など2市2町が参加する荒尾玉名・大牟田観光推進協議会が修学旅行生の誘致活動を行い実施したもので、今年度は4校が荒尾干潟を訪れ、マジック釣りを堪能しました。



1・2 マジック釣りを楽しむ子どもたち 3 名人の技を学ぼうと一生懸命です 4 クラス対抗戦として開催されたため、班ごとに釣ったマジック釣りを計量し、表彰を行いました 5 初めてのマジック釣りの試食に子どもたちは、「甘い部分や辛い部分などがあっておいしい」と話しました

INTERVIEW

神戸市立西代中学校 学年主任 三宅義範先生
子どもたちにはなかなか経験出来ないことをさせてやりたいという思いがありました。調べていくうちに、荒尾干潟の環境が素晴らしいと分かり、そこに生息するマジックとの出会いは、子どもたちにとって自然環境を大切にすることを育む良いきっかけになるのではないかと考えました。釣るのは難しかったですが、クラス対抗戦ということもあり、子どもたちもいきいきと釣っていたのが印象的でした。

桜山小6年生が修学旅行生と交流

鹿児島県枕崎市立桜山小学校6年生24人が修学旅行で桜山小を訪問し、6年生24人と交流しました。ことし3月に枕崎市立桜山小の当時の6年生が卒業制作のDVDを送ったことがきっかけで両校は交流を開始。交流会では、桜山小6年生の踊りでの出迎いの後、さまざまなレクリエーションを通して親交を深めました。最後には、荒尾市のマスコットキャラクターのマジックと記念撮影を行いました。

あらかのいきいき企業 Vol.1

【企業概要】
 ■所在地 荒尾市増永 1850
 ■電話番号 62-3520
 ■ホームページ <http://www.ichibo.co.jp>
 ■事業内容 紡績・ニット・加工・縫製による繊維製品の一貫生産・販売など
 ■資本金 40億円
 ■売上高 45億円(平成29年3月期)
 ■従業員数 114人(グループ合計233人)



【何をしている会社なの?】

紡績(原料の繊維から糸の状態にするまでの工程)を主とし、紡績から編み立て、染色加工、縫製を経て、製品まで作ることができる一貫生産設備を有している、全国で唯一の工場です。昭和22年に荒尾市増永に工場を新設しました。今年創業70周年を迎えた歴史ある会社です。

今月から、市内でいきいきと頑張る企業を紹介していきます!

第一紡績株式会社



【わが社の一押し!】

自社ブランド「荒尾の和糸」は第一紡績株式会社独自の糸でつくった高級肌着で、現在、全国の大手百貨店で販売中です。



~荒尾の和糸ができるまで~

ここがすごい!

1 良質な原材料のこだわり

柔らかで、光沢がある上質の綿花を厳選し、贅沢に使用しています



2 こだわりの糸づくり

長年培われた紡績技術と丁寧な作業で、一貫性のある「きれい糸」に仕上げます



3 こだわりの編み立て

糸から布へと編み上げます。素材の良さは、手間と熟練の技によって生まれます



4 こだわりの染加工

「白さ」に高い評価を得ている加工技術で生地を晒し、純白の美しさに仕上げます



5 縫いへのこだわり

縫い目をフラットに縫い上げていきます。着心地の良さは丁寧な縫製から生まれます



6 完成!

自社工場での一貫生産ならではの関係プレーで高品質を維持しています。肌触りの良さを、ぜひ一度味わってみませんか



【いきいき Boy】 中原侑希さん

◆入社何年目? 2年目です。
 ◆会社を選んだ理由は? 地元で就職したいと思っていました。給料面をはじめ、休日がしっかり取れるのがいいですね。
 ◆担当は? 染色部門を担当しています。
 ◆やりがいを感じる時は? 自分が染めた生地を他の企業が買ってくれたときや、製品がテレビに出たときなどです。
 ◆難しいところは? 染色は最終工程なので、失敗できないというプレッシャーはありますね。
 ◆最後に一言メッセージを! 全国でも珍しい、一貫生産に誇りを持って仕事をしています!

